

取組事例の紹介

1 取組の主要テーマ

離職率の改善と働きやすい職場づくり

2 医療機関の属性

病院名.....医療法人社団 宗仁会 宗仁会病院.....

所在地.....茨城県取手市岡1493.....

病床数.....一般30床 療養病床39床 介護療養84床 老健67床.....

入院基本料.....一般13対1 医療療養20対1.....

職員数.....200名.....

3 取組課題

◇働き方・休み方に関する課題

◇働きがいの向上に関する課題

4 取組内容

◇子育て中、介護中の職員への配慮（院内保育所の整備、残業の免除、休暇制度の充実等）

◇ワークライフバランスに取り組む組織風土・体制作り（長時間労働の抑制、年次有給休暇の取得促進の取り組みを含む）

5 取組のきっかけ、取組前の問題点

◇看護職のWLBワークショップ参加にあたり、WLB委員会を設置した。問題点を3年計画で改善していく。1人当たりの夜勤回数の削減、離職率の改善、職員を大切にする職場づくり、育児等の短時間勤務の推奨に取り組んだ。

6 取組の体制・中心人物

◇WLBを病院全体で、全職種で検討するため、看護・介護・コメディカル・事務の8名体制とした。

7 取組の概要

- ◇全職種を対象としたアンケート調査を実施し、各部署各職種の問題点を発見することが出来た。
- ◇部門ごとに次年度予算の作成や、各部署代表者会議にて病院の収支状況を発表し全職員に周知する事で、病院状況の共有、問題点の共有、収支状況を職員が自ら考える土俵づくりをした。
- ◇奨学金制度の拡充、外部研修参加の増加（勤務扱い）、などの職員のキャリアアップの補助とした。
- ◇産休明け職員等への短時間勤務活用の提示と院内の協力体制の構築を行った。
- ◇他職種他部署との交流を強化する為、福利厚生の一環としてバスツアーなどの企画を行い各部署の交流を助力した。
- ◇定期的なアンケート調査を実施し、満足度や問題点の変化を捉え、都度対策の修正を検討した。

8 実施後の成果や見えてきた課題

- ◇3年後のアンケート調査結果では、すべての項目において「良い」という意見が上昇し、一部は飛躍的に向上した。
- ◇「離職率」は34.0%から3.8%に改善、「職員を大切にできる職場か？」という問いは、22.5%から63.7%へ上昇した。
- ◇「上下関係にこだわらず主張すべきことを話せるか？」35.0%から69.1%、「上司は自分の考え方を十分に説明している」32.5%から76.3%、と上司との関係性の改善がみられた。
- ◇全部署への取り組みが一体感を生み出し、「チーム宗仁会」として功を奏したと思われる。
- ◇大きく規則や体制を変えずとも、働く者の気持ちを変える事でWLBとして成立することを感じた。